令和３年９月 16 日	第５回医薬品等行政評価・監視委員会	参考資料３

新型コロナワクチンの予診票・説明書・情報提供資材

１．予診票　２ページ

２．説明書　４ページ

３．情報提供資材

・新型コロナワクチン接種のお知らせ　10 ページ

・新型コロナワクチン接種についてのお知らせ
12 歳以上のお子様と保護者の方へ　26 ページ

・新型コロナワクチンを受けた後の注意点　30 ページ

・血をサラサラにする薬を飲まれている方へ　37 ページ

・新型コロナワクチン接種後の副反応への対応方法　38 ページ

４．広報資材（ポスター）　40 ページ

新型コロナワクチン接種の予診票

※太枠内にご記入またはチェック☑を入れてください。

※ワクチン接種後に医療機関において貼り付けてください

※左隅に合わせ、点線に沿ってまっすぐに貼り付けてください

（クーポン貼付）

住民票に記載されている住所	都道府県　市区町村		
フリガナ / 氏名		電話番号	（　　） －
生年月日（西暦）	□□□□年□□月□□日生（満□□□歳）	□男・□女	診察前の体温　□□度□分

質問事項	回答欄		医師記入欄
新型コロナワクチンの接種を初めて受けますか。 （接種を受けたことがある場合　1回目:　月　日、2回目:　月　日）	□はい	□いいえ	
現時点で住民票のある市町村と、クーポン券に記載されている市町村は同じですか。	□はい	□いいえ	
『新型コロナワクチンの説明書』を読んで、効果や副反応などについて理解しましたか。	□はい	□いいえ	
接種順位の上位となる対象グループに該当しますか。 □医療従事者等　□65歳以上　□60～64歳　□高齢者施設等の従事者 □基礎疾患を有する（病名:　）	□はい	□いいえ	
現在、何らかの病気にかかって、治療（投薬など）を受けていますか。 病　名：□心臓病　□腎臓病　□肝臓病　□血液疾患　□血が止まりにくい病気　□免疫不全 □その他（　） 治療内容：□血をサラサラにする薬（　）□その他（　）	□はい	□いいえ	
最近1ヶ月以内に熱が出たり、病気にかかったりしましたか。　病名（　）	□はい	□いいえ	
今日、体に具合が悪いところがありますか。　症状（　）	□はい	□いいえ	
けいれん（ひきつけ）を起こしたことがありますか。	□はい	□いいえ	
薬や食品などで、重いアレルギー症状（アナフィラキシーなど）を起こしたことがありますか。 薬・食品など原因になったもの（　）	□はい	□いいえ	
これまでに予防接種を受けて具合が悪くなったことはありますか。 種類（　）　症状（　）	□はい	□いいえ	
現在妊娠している可能性（生理が予定より遅れているなど）はありますか。または、授乳中ですか。	□はい	□いいえ	
2週間以内に予防接種を受けましたか。　種類（　）　受けた日（　）	□はい	□いいえ	
今日の予防接種について質問がありますか。	□はい	□いいえ	

医師記入欄		医師署名又は記名押印
	以上の問診及び診察の結果、今日の接種は（□可能　・　□見合わせる）	
	本人に対して、接種の効果、副反応及び予防接種健康被害救済制度について、説明した。	
	□　被接種者は6歳未満である（該当する場合は塗りつぶしてください）	

新型コロナワクチン接種希望書

医師の診察・説明を受け、接種の効果や副反応などについて理解した上で、接種を希望しますか。（□接種を希望します　・　□接種を希望しません）

この予診票は、接種の安全性の確保を目的としています。

このことを理解の上、本予診票が市町村、国民健康保険中央会及び国民健康保険団体連合会に提出されることに同意します。

年　月　日　被接種者又は保護者自署

（※自署できない場合は代筆者が署名し、代筆者氏名及び被接種者との続柄を記載）
（※被接種者が16歳未満の場合は保護者自署、成年被後見人の場合は本人又は成年後見人自署）

医師記入欄	ワクチン名・ロット番号	接種量	実施場所・医師名・接種年月日　※医療機関等コード・接種年月日は枠内に収まるよう記入してください。
	シール貼付位置 ※枠に合わせてまっすぐに貼り付けてください （注）有効期限が切れていないか確認	□.□ ml	実施場所 医師名 医療機関等コード 接種年月日　※記入例）4月1日→04月01日 2□2□年□□月□□日

新型コロナワクチン接種の予診票（アストラゼネカ用）

※ファイザー社または武田/モデルナ社のワクチンでも使用できます。
※太枠内にご記入またはチェック☑を入れてください。

※ワクチン接種後に医療機関において貼り付けてください
※左隅に合わせ、点線に沿ってまっすぐに貼り付けてください
（クーポン貼付）

住民票に記載されている住所	都道府県　市区町村		
フリガナ / 氏名		電話番号	（　　） －
生年月日（西暦）	□□□□年□□月□□日生（満□□□歳）	□男・□女	診察前の体温　□□度□分

質問事項	回答欄		医師記入欄
新型コロナワクチンの接種を初めて受けますか。 （接種を受けたことがある場合　1回目:　月　日、2回目:　月　日）	□はい	□いいえ	
現時点で住民票のある市町村と、クーポン券に記載されている市町村は同じですか。	□はい	□いいえ	
『新型コロナワクチンの説明書』を読んで、効果や副反応などについて理解しましたか。	□はい	□いいえ	
接種順位の上位となる対象グループに該当しますか。 □医療従事者等　□65歳以上　□60～64歳　□高齢者施設等の従事者 □基礎疾患を有する（病名:　）	□はい	□いいえ	
現在、何らかの病気にかかって、治療（投薬など）を受けていますか。 病　名：□心臓病　□腎臓病　□肝臓病　□血液疾患　□血が止まりにくい病気　□免疫不全 □毛細血管漏出症候群　□その他（　） 治療内容：□血をサラサラにする薬（　）□その他（　）	□はい	□いいえ	
最近1ヶ月以内に熱が出たり、病気にかかったりしましたか。　病名（　）	□はい	□いいえ	
今日、体に具合が悪いところがありますか。　症状（　）	□はい	□いいえ	
けいれん（ひきつけ）を起こしたことがありますか。	□はい	□いいえ	
薬や食品などで、重いアレルギー症状（アナフィラキシーなど）を起こしたことがありますか。 薬・食品など原因になったもの（　）	□はい	□いいえ	
これまでに予防接種を受けて具合が悪くなったことはありますか。 種類（　）　症状（　）	□はい	□いいえ	
現在妊娠している可能性（生理が予定より遅れているなど）はありますか。または、授乳中ですか。	□はい	□いいえ	
2週間以内に予防接種を受けましたか。　種類（　）　受けた日（　）	□はい	□いいえ	
今日の予防接種について質問がありますか。	□はい	□いいえ	

医師記入欄		医師署名又は記名押印
	以上の問診及び診察の結果、今日の接種は（□可能　・　□見合わせる）	
	本人に対して、接種の効果、副反応及び予防接種健康被害救済制度について、説明した。	
	□　被接種者は6歳未満である（該当する場合は塗りつぶしてください）	

新型コロナワクチン接種希望書

医師の診察・説明を受け、接種の効果や副反応などについて理解した上で、接種を希望しますか。（□接種を希望します　・　□接種を希望しません）

この予診票は、接種の安全性の確保を目的としています。

このことを理解の上、本予診票が市町村、国民健康保険中央会及び国民健康保険団体連合会に提出されることに同意します。

年　月　日　被接種者又は保護者自署

（※自署できない場合は代筆者が署名し、代筆者氏名及び被接種者との続柄を記載）
（※被接種者が16歳未満の場合は保護者自署、成年被後見人の場合は本人又は成年後見人自署）

医師記入欄	ワクチン名・ロット番号	接種量	実施場所・医師名・接種年月日　※医療機関等コード・接種年月日は枠内に収まるよう記入してください。
	シール貼付位置 ※枠に合わせてまっすぐに貼り付けてください （注）有効期限が切れていないか確認	□.□ ml	実施場所 医師名 医療機関等コード 接種年月日　※記入例）4月1日→04月01日 2□2□年□□月□□日

新型コロナワクチン予防接種についての説明書

ファイザー社
ワクチン用
（2021 年8月）

新型コロナウイルスワクチン接種について

本ワクチンの接種は国と地方自治体による新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）ワクチン接種事業の一環として行われます。本ワクチンの接種は公費対象となり、希望者は無料で接種可能です。なお、本ワクチンは 12 歳以上の方が対象です。

ワクチンの効果と投与方法

今回接種するワクチンはファイザー社製のワクチンです。新型コロナウイルス感染症の発症を予防します。

本ワクチンの接種を受けた人は、受けていない人よりも、新型コロナウイルス感染症を発症した人が少ないということが分かっています。（発症予防効果は約 95%と報告されています。）

販売名	コミナティ®筋注
効能・効果	SARS-CoV-2 による感染症の予防
接種回数・間隔	２回（通常、３週間の間隔）　※筋肉内に接種
接種対象	12 歳以上（12 歳未満の人に対する有効性・安全性はまだ明らかになっていません。）
接種量	１回 0.3 mL を合計２回

- 1 回目の接種後、通常、3 週間の間隔で 2 回目の接種を受けてください。（接種後 3 週間を超えた場合は、できるだけ速やかに 2 回目の接種を受けてください。）
- 1 回目に本ワクチンを接種した場合は、2 回目も必ず本ワクチン接種を受けてください。
- 本ワクチンの接種で十分な免疫ができるのは、２回目の接種を受けてから７日程度経って以降とされています。また、感染を完全に予防できる訳ではありません。ワクチン接種にかかわらず、適切な感染防止策を行う必要があります。

予防接種を受けることができない人

下記にあてはまる方は本ワクチンを接種できません。該当すると思われる場合、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- 明らかに発熱している人（※1）
- 重い急性疾患にかかっている人
- 本ワクチンの成分に対し重度の過敏症（※2）の既往歴のある人
- 上記以外で、予防接種を受けることが不適当な状態にある人

（※1）明らかな発熱とは通常 37.5℃以上を指します。ただし、37.5℃を下回る場合も平時の体温を鑑みて発熱と判断される場合はこの限りではありません。

（※2）アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状。

予防接種を受けるに当たり注意が必要な人

下記にあてはまる方は本ワクチンの接種について、注意が必要です。該当すると思われる場合は、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- 抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある人
- 過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
- 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある人
- 過去に予防接種を受けて、接種後 2 日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた人
- 過去にけいれんを起こしたことがある人
- 本ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある人

（うらへ続く）

妊娠中、又は妊娠している可能性がある人、授乳されている人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。

本剤には、これまでのワクチンでは使用されたことのない添加剤が含まれています。過去に、薬剤で過敏症やアレルギーを起こしたことのある人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。

接種を受けた後の注意点

- 本ワクチンの接種を受けた後、15 分以上（過去にアナフィラキシーを含む重いアレルギー症状を起こしたことがある方や、気分が悪くなったり、失神等を起こしたりしたことがある方は 30 分以上）、接種を受けた施設でお待ちいただき、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。(急に起こる副反応に対応できます。)
- 注射した部分は清潔に保つようにし、接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分はこすらないようにしてください。
- 通常の生活は問題ありませんが、当日の激しい運動や過度の飲酒等は控えてください。

副反応について

- 主な副反応は、注射した部分の痛み、頭痛、関節や筋肉の痛み、疲労、寒気、発熱等があります。また、まれに起こる重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーがあります。なお、本ワクチンは、新しい種類のワクチンのため、これまでに明らかになっていない症状が出る可能性があります。接種後に気になる症状を認めた場合は、接種医あるいはかかりつけ医に相談しましょう。
- ごく稀ではあるものの、ワクチン接種後に軽症の心筋炎や心膜炎が報告されています(※)。接種後数日以内に胸の痛みや動悸、息切れ、むくみ等の症状が現れたら、速やかに医療機関を受診してください。
  （※）1 回目よりも 2 回目の接種の後に多く、若い方、特に男性に多い傾向が見られます。

予防接種健康被害救済制度について

予防接種では健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことができないことから、救済制度が設けられています。

新型コロナワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金等の給付）が受けられます。申請に必要となる手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

新型コロナウイルス感染症について

SARS-CoV-2 による感染症が発症すると、熱や咳など風邪によく似た症状がみられます。軽症のまま治癒する人も多い一方、重症化すると、呼吸困難などの肺炎の症状が悪化し、死に至る場合もあります。

今回接種する新型コロナウイルスワクチン（ファイザー社製のワクチン）の特徴

本剤はメッセンジャーRNA（mRNA）ワクチンであり、SARS-CoV-2 のスパイクタンパク質（ウイルスがヒトの細胞へ侵入するために必要なタンパク質）の設計図となる mRNA を脂質の膜に包んだ製剤です。本剤接種により mRNA がヒトの細胞内に取り込まれると、この mRNA を基に細胞内でウイルスのスパイクタンパク質が産生され、スパイクタンパク質に対する中和抗体産生及び細胞性免疫応答が誘導されることで、SARS-CoV-2 による感染症の予防ができると考えられています。

本剤には、下記の成分が含まれています。

有効成分	✧ トジナメラン（ヒトの細胞膜に結合する働きを持つスパイクタンパク質の全長体をコードする mRNA）
添加物	✧ ＡＬＣ－０３１５：［（4-ヒドロキシブチル）アザンジイル］ビス（ヘキサン-6,1-ジイル）ビス（2-ヘキシルデカン酸エステル） ✧ ＡＬＣ－０１５９：2-［（ポリエチレングリコール）-2000］-N,N-ジテトラデシルアセトアミド ✧ ＤＳＰＣ：1,2-ジステアロイル-sn-グリセロ-3-ホスホコリン ✧ コレステロール ✧ 塩化カリウム ✧ リン酸二水素カリウム ✧ 塩化ナトリウム ✧ リン酸水素ナトリウム二水和物 ✧ 精製白糖

新型コロナワクチンの詳しい情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。 厚労　コロナ　ワクチン　検索

ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。

新型コロナワクチン予防接種についての説明書

武田／モデルナ社
ワクチン用
（2021 年8月）

新型コロナウイルスワクチン接種について

本ワクチンの接種は国と地方自治体による新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）ワクチン接種事業の一環として行われます。本ワクチンの接種は公費対象となり、希望者は無料で接種可能です。なお、本ワクチンは 12 歳以上の方が対象です。

ワクチンの効果と投与方法

今回接種するワクチンは武田／モデルナ社製のワクチンです。新型コロナウイルス感染症の発症を予防します。

本ワクチンの接種を受けた人は、受けていない人よりも、新型コロナウイルス感染症を発症した人が少ないということが分かっています。（発症予防効果は約 94%と報告されています。）

販売名	COVID-19 ワクチンモデルナ筋注®
効能・効果	SARS-CoV-2 による感染症の予防
接種回数・間隔	２回（通常、４週間の間隔）　※筋肉内に接種
接種対象	12 歳以上（12 歳未満の人に対する有効性・安全性はまだ明らかになっていません。）
接種量	１回 0.5 mL を合計２回

- 1 回目の接種後、通常、４週間の間隔で 2 回目の接種を受けてください。（接種後４週間を超えた場合は、できるだけ速やかに 2 回目の接種を受けてください。）
- 1 回目に本ワクチンを接種した場合は、2 回目も必ず本ワクチンの接種を受けてください。
- 臨床試験において、本ワクチンの接種で十分な免疫が確認されたのは、2 回目の接種を受けてから 14 日以降です。また、感染を完全に予防できる訳ではありません。ワクチン接種にかかわらず、適切な感染防止策を行う必要があります。

予防接種を受けることができない人

下記にあてはまる方は本ワクチンを接種できません。該当すると思われる場合、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- 明らかに発熱している人（※1）
- 重い急性疾患にかかっている人
- 本ワクチンの成分に対し重度の過敏症（※2）の既往歴のある人
- 上記以外で、予防接種を受けることが不適当な状態にある人

（※1）明らかな発熱とは通常 37.5℃以上を指します。ただし、37.5℃を下回る場合も平時の体温を鑑みて発熱と判断される場合はこの限りではありません。

（※2）アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状。

予防接種を受けるに当たり注意が必要な人

下記にあてはまる方は本ワクチンの接種について、注意が必要です。該当すると思われる場合は、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- 抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある人
- 過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
- 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある人
- 過去に予防接種を受けて、接種後 2 日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた人
- 過去にけいれんを起こしたことがある人
- 本ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある人

（うらへ続く）

妊娠中、又は妊娠している可能性がある人、授乳されている人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。

本剤には、これまでのワクチンでは使用されたことのない添加剤が含まれています。過去に、薬剤で過敏症やアレルギーを起こしたことのある人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。

接種を受けた後の注意点

- 本ワクチンの接種を受けた後、15 分以上（過去にアナフィラキシーを含む重いアレルギー症状を起こしたことがある方や、気分が悪くなったり、失神等を起こしたりしたことがある方は 30 分以上）、接種を受けた施設でお待ちいただき、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。(急に起こる副反応に対応できます。)
- 注射した部分は清潔に保つようにし、接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分はこすらないようにしてください。
- 通常の生活は問題ありませんが、激しい運動や過度の飲酒等は控えてください。

副反応について

- 主な副反応は、注射した部分の痛み（※１）、頭痛、関節や筋肉の痛み、疲労、寒気、発熱等があります。また、まれに起こる重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーがあります。なお、本ワクチンは、新しい種類のワクチンのため、これまでに明らかになっていない症状が出る可能性があります。接種後に気になる症状を認めた場合は、接種医あるいはかかりつけ医に相談しましょう。

（※１）接種直後よりも翌日に痛みを感じる方が多いです。接種後１週間程度経ってから、痛みや腫れなどが起きることもあります。

- ごく稀ではあるものの、ワクチン接種後に軽症の心筋炎や心膜炎が報告されています(※２)。接種後数日以内に胸の痛みや動悸、息切れ、むくみ等の症状が現れたら、速やかに医療機関を受診してください。

（※２）１回目よりも２回目の接種の後に多く、若い方、特に男性に多い傾向が見られます。

予防接種健康被害救済制度について

予防接種では健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことができないことから、救済制度が設けられています。

新型コロナワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金等の給付）が受けられます。申請に必要となる手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

新型コロナウイルス感染症について

SARS-CoV-2 による感染症が発症すると、熱や咳など風邪によく似た症状がみられます。軽症のまま治癒する人も多い一方、重症化すると、呼吸困難などの肺炎の症状が悪化し、死に至る場合もあります。

今回接種する新型コロナウイルスワクチン（武田／モデルナ社製のワクチン）の特徴

本剤はメッセンジャーRNA（mRNA）ワクチンであり、SARS-CoV-2 のスパイクタンパク質（ウイルスがヒトの細胞へ侵入するために必要なタンパク質）の設計図となる mRNA を脂質の膜に包んだ製剤です。本剤接種により mRNA がヒトの細胞内に取り込まれると、この mRNA を基に細胞内でウイルスのスパイクタンパク質が産生され、スパイクタンパク質に対する中和抗体産生及び細胞性免疫応答が誘導されることで、SARS-CoV-2 による感染症の予防ができると考えられています。

本剤には、下記の成分が含まれています。

有効成分	✧ CX-024414（ヒトの細胞膜に結合する働きを持つスパイクタンパク質の全長体をコードする mRNA）
添加物	✧ SM-102：ヘプタデカン-9-イル 8-((2-ヒドロキシエチル)(6-オキソ-6-(ウンデシルオキシ)ヘキシル)アミノ)オクタン酸エステル ✧ コレステロール ✧ DSPC：1,2-ジステアロイル-sn-グリセロ-3-ホスホコリン ✧ 1,2-ジミリストイル-rac-グリセロ-3-メチルポリオキシエチレン（PEG2000-DMG） ✧ トロメタモール ✧ トロメタモール塩酸塩 ✧ 氷酢酸 ✧ 酢酸ナトリウム水和物 ✧ 精製白糖

新型コロナワクチンの詳しい情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

厚労　コロナ　ワクチン　検索

ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。

アストラゼネカ社
ワクチン用
（2021 年8月）

新型コロナワクチン予防接種についての説明書

◎ 必要な場合を除き、本ワクチンは原則として 40 歳以上の人を対象に使用してください。
◎ ただし、他の新型コロナワクチンに含まれる成分に対してアレルギーがあり接種ができない等、特にアストラゼネカ社のワクチンの接種を希望する場合は、例外的に 18 歳以上 40 歳未満でも接種可能です。
◎ 海外で、稀ではあるものの、血小板減少症を伴う血栓症、毛細血管漏出症候群、ギラン・バレー症候群などの脱髄疾患が起きることが報告されています。接種に当たっては、リスクとベネフィットをご理解いただき、納得した上で接種してください。

新型コロナウイルスワクチン接種について

本ワクチンの接種は国と地方自治体による新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）ワクチン接種事業の一環として行われます。本ワクチンの接種は公費対象となり、希望者は無料で接種可能です。

ワクチンの効果と投与方法

今回接種するワクチンはアストラゼネカ社製のワクチンです。新型コロナウイルス感染症の発症を予防します。

本ワクチンの接種を受けた人は、受けていない人よりも、新型コロナウイルス感染症を発症した人が少ないということが分かっています。（臨床試験を通じて、約 70%等の発症予防効果が確認されています。）

販売名	バキスゼブリア®筋注
効能・効果	SARS-CoV-2 による感染症の予防
接種回数・間隔	２回（通常、４～12 週間の間隔）　※筋肉内に接種
接種対象	原則として 40 歳以上
接種量	１回 0.5 mL を合計２回

- 薬事承認上は、1 回目の接種後、４～12 週間の間隔で 2 回目の接種を受けることとなっています。ただし、最大の効果を得るためには、８週以上の間隔をおいて接種することが望ましいとされています。また、接種後 12 週間を超えた場合は、できるだけ速やかに 2 回目の接種を受けてください。
- 接種対象年齢は、薬事承認上は 18 歳以上を対象に有効性・安全性が確認されていますが、諸外国における使用推奨状況や年齢ごとのリスク・ベネフィットに関する報告等を踏まえ、現時点では原則として 40 歳以上を対象としています。
- 1 回目に本ワクチンを接種した場合は、2 回目も必ず本ワクチンの接種を受けてください。
- 臨床試験において、本ワクチンの接種で十分な免疫が確認されたのは、2 回目の接種を受けてから 15 日以降です。また、感染を完全に予防できる訳ではありません。ワクチン接種にかかわらず、適切な感染防止策を行う必要があります。

予防接種を受けることができない人

下記にあてはまる方は本ワクチンを接種できません。該当すると思われる場合、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- 明らかに発熱している人（※1）
- 重い急性疾患にかかっている人
- 本ワクチンの成分に対し重度の過敏症（※2）の既往歴のある人
- SARS-CoV-2 ワクチン接種後に血小板減少症を伴う静脈もしくは動脈の血栓症を起こしたことがある人
- 毛細血管漏出症候群の既往歴のある人
- 上記以外で、予防接種を受けることが不適当な状態にある人

（※1）明らかな発熱とは通常 37.5℃以上を指します。ただし、37.5℃を下回る場合も平時の体温を鑑みて発熱と判断される場合はこの限りではありません。

（※2）アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状。

予防接種を受けるに当たり注意が必要な人

下記にあてはまる方は本ワクチンの接種について、注意が必要です。該当すると思われる場合は、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- 抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある人
- 過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
- 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある人
- 過去に予防接種を受けて、接種後 2 日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた人
- 過去にけいれんを起こしたことがある人
- 本ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある人

（うらへ続く）

妊娠中、又は妊娠している可能性がある人、授乳されている人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。
本剤には、これまでのワクチンでは使用されたことのない添加剤が含まれています。過去に、薬剤で過敏症やアレルギーを起こしたことのある人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。

接種を受けた後の注意点

- 本ワクチンの接種を受けた後、15 分以上（過去にアナフィラキシーを含む重いアレルギー症状を起こしたことがある方や、気分が悪くなったり、失神等を起こしたりしたことがある方は 30 分以上）、接種を受けた施設でお待ちいただき、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。(急に起こる副反応に対応できます。)
- 注射した部分は清潔に保つようにし、接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分はこすらないようにしてください。
- 通常の生活は問題ありませんが、当日の激しい運動や過度の飲酒等は控えてください。

副反応について

- 主な副反応は、注射した部分の痛み、頭痛、関節や筋肉の痛み、倦怠感、疲労、寒気、発熱等があります。なお、臨床試験では、これらの症状は２回目の接種時より１回目の接種時の方が、発現頻度が高い傾向が見られています。また、まれに起こる重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーがあります。本ワクチンは、新しい種類のワクチンのため、これまでに明らかになっていない症状が出る可能性があります。接種後に気になる症状を認めた場合は、接種医あるいはかかりつけ医に相談しましょう。
- ごく稀ではあるものの、ワクチン接種後に血小板減少症を伴う血栓症（※１）、毛細血管漏出症候群（※２）、ギラン・バレー症候群などの脱髄疾患（※３）を発症した例が、海外で報告されています。接種後に次のような症状が現れたら、速やかに医療機関を受診してください。
  （※１）持続する激しい頭痛、目のかすみ、息切れ、錯乱、けいれん、胸の痛み、足のやむくみや痛み、持続する腹痛、接種部位以外の内出血（あざ）などの症状。なお、これらの症状の殆どは接種後 28 日以内に起きることが多く、また、２回目の接種後よりも１回目の接種後に起きることが多いです。
  （※２）手足のむくみ、低血圧などの症状。
  （※３）手足の力が入りにくいなどの運動障害、しびれなどの感覚障害、排尿・排便障害、目のかすみなどの視力障害。

予防接種健康被害救済制度について

予防接種では健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことができないことから、救済制度が設けられています。
新型コロナワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金等の給付）が受けられます。申請に必要となる手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

新型コロナウイルス感染症について

SARS-CoV-2 による感染症が発症すると、熱や咳など風邪によく似た症状がみられます。軽症のまま治癒する人も多い一方、重症化すると、呼吸困難などの肺炎の症状が悪化し、死に至る場合もあります。

今回接種する新型コロナウイルスワクチン（アストラゼネカ社製のワクチン）の特徴

本剤はウイルスベクターワクチンであり、SARS-CoV-2 のスパイクタンパク質（ウイルスがヒトの細胞へ侵入するために必要なタンパク質）のアミノ酸配列をコードする遺伝子をサルアデノウイルス（風邪のウイルスであるアデノウイルスに、増殖できないよう処理が施されています。）に組み込んだ製剤です。本剤接種により遺伝子がヒトの細胞内に取り込まれると、この遺伝子を基に細胞内でウイルスのスパイクタンパク質が産生され、スパイクタンパク質に対する中和抗体産生及び細胞性免疫応答が誘導されることで、SARS-CoV-2 による感染症の予防ができると考えられています。

本剤には、下記の成分が含まれています。

有効成分	✧　コロナウイルス（SARS-CoV-2）ワクチン（遺伝子組換えサルアデノウイルスベクター） （注：SARS-CoV-2 のスパイクタンパク質のアミノ酸配列をコードする遺伝子を組み込んだサルアデノウイルス）
添加物	✧　L-ヒスチジン ✧　L-ヒスチジン塩酸塩水和物 ✧　塩化ナトリウム ✧　塩化マグネシウム ✧　エデト酸ナトリウム水和物 ✧　精製白糖 ✧　無水エタノール ✧　ポリソルベート 80

新型コロナワクチンの詳しい情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。
厚労　コロナ　ワクチン　検索
ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。

2021年9月14日

コミナティ（ファイザー社）または
COVID-19 ワクチンモデルナ（武田薬品）について

新型コロナワクチン接種のお知らせ

接種費用
無料
（全額公費）



未来につながる新型コロナ対策が、ひとつ増えました。

ワクチンをより多くの方に接種していただけるようになりました。

ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

新型コロナワクチンの有効性と安全性

新型コロナワクチンは、発症を予防し、
重症者や死亡者の発生をできる限り減らすことを目的としています。

◎ワクチンの効果：

新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）による感染症の予防

メッセンジャーRNAワクチンという種類のワクチンです。ワクチンを受けた人の方が受けていない人よりも、新型コロナウイルス感染症（※）を発症した人が少ないということがわかっています。
（発症予防効果は約95%と報告されています。）



（※）新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）による感染症が発症すると、熱や咳など風邪によく似た症状がみられます。軽症のまま治癒する人も多い一方、症状が重くなると、呼吸困難などの肺炎の症状が悪化し、死に至る場合もあります。

◎ワクチンの安全性：

接種後、数日以内に現れる可能性がある症状

発現割合	症　状	
	コミナティ（ファイザー社）	モデルナ（武田薬品）
50%以上	接種部位の痛み、疲労、頭痛	接種部位の痛み、疲労、頭痛、筋肉痛
10-50%	筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢、発熱、接種部位の腫れ	関節痛、悪寒、吐き気・嘔吐、リンパ節症、発熱、接種部位の腫れ、発赤・紅斑
1-10%	吐き気、嘔吐	接種後7日目以降の接種部位の痛みなど（※）

コミナティ添付文書、COVID-19 ワクチンモデルナ添付文書より

（※）接種部位の痛みや腫れ、紅斑

・接種直後よりも翌日に痛みを感じている方が多いです。
・これらの症状の大部分は、接種後数日以内に回復しています。
・疲労や関節痛、発熱など、1回目より2回目の方が、頻度が高くなる症状もあります。

○接種後すぐにアナフィラキシーや血管迷走神経反射が起こる可能性があります。詳しくは6ページをご参照ください。
○ごくまれですが、ワクチン接種数日以内に、軽症の心筋炎・心膜炎を発症した例が報告されています（※）。ワクチンを受けた後、数日以内に、胸痛、動悸、息切れ、むくみ等の症状があれば、すぐに医療機関を受診し、ワクチンを受けたことを伝えてください。
（※）若い方、特に男性において2回目の接種後数日以内に発症する例が多い傾向が見られます。
○コミナティは12歳以上、COVID-19ワクチンモデルナは18歳以上の方が対象です。

ワクチンを受けるのに注意が必要な方など

詳しい情報は、厚生労働省ホームページ
「新型コロナワクチンQ&A『私は接種できますか?』」をご覧ください。

◯以下に当てはまる方は、ワクチンを受けることができない場合や、注意が必要な場合があります。
接種に不安がある方は、かかりつけ医等にワクチンを受けて良いかどうかご相談ください。

受けることができない方	◯明らかな発熱がある方や、重い急性疾患にかかっている方 ◯ワクチンの成分（※1）に対し、重度の過敏症を起こしたことがある方
注意が必要な方	◯現在、何らかの病気で治療中の方 ・心臓病、腎臓病、肝臓病、血液疾患、免疫不全で治療中の方 ・血が止まりにくい病気の方や、血をサラサラにする薬（※2）を飲んでいる方 ◯以下の様な症状が出たことがある方 ・薬や食品に対する重いアレルギー症状 ・けいれん（ひきつけ）

（※1）ポリエチレングリコールなどが成分として含まれます。ポリエチレングリコールは、大腸内視鏡検査時に下剤として使用する医薬品を始め、様々な医薬品に添加剤として含まれており、化粧品にも含まれていることがあります。その他の成分や、詳細については、厚生労働省ホームページをご参照ください。

（※2）このワクチンは、筋肉内に注射をします。そのため、抗凝固薬（ワーファリン®、プラザキサ®、イグザレルト®、エリキュース®、リクシアナ®）を内服中の方は、接種後の出血に注意が必要です。

◯妊娠中・授乳中・妊娠を計画している方もワクチンを接種することができます。メッセンジャーRNAワクチンが妊娠、胎児、母乳、生殖器に悪影響を及ぼすという報告は現時点でありません。受けるかお悩みの方は、主治医にもご相談ください。

◯新型コロナウイルスに感染したことのある方も、ワクチンを接種することができます。現時点では通常通り、2回接種します。いつから接種できるか不明な場合は、主治医にご確認ください。

ワクチンを受ける際には、感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について、正しい知識を持っていただいた上で、ご本人の意思に基づいて接種をご判断いただきますようお願いします。受ける方の同意なく、接種が行われることはありません。

職場や周りの方などに接種を強制したり、接種を受けていない人に対して差別的な対応をすることはあってはなりません。



ワクチン接種の申し込み方法

■「接種券」を確認する

新型コロナワクチンは、①医療従事者、②高齢者（65歳以上）、③基礎疾患のある方等から順次接種を開始しています。お住まいの市町村から「接種券」が届きますので、同封の案内をよく読んで、接種の準備を進めてください。



■ 医療機関/接種会場を探す

市町村からの広報やインターネットで、ワクチンを受けることができる医療機関や接種会場を探しましょう。

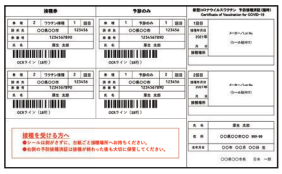
接種総合案内サイト 「コロナワクチンナビ」	サイトアドレス： https://v-sys.mhlw.go.jp

■ 予約する

ワクチンを受けたい医療機関／市町村にお問い合わせください。ワクチンの種類は複数あります。あなたがどのワクチンを接種するかは、予約の際にご確認ください。

■ 当日の持ち物を準備する

・接種券（はがさず台紙ごとお持ちください）
・本人確認書類
（マイナンバーカード、運転免許証、健康保険証 等）



「接種券」（例）



マイナンバーカード 等

・医療機関や接種会場が探せない場合や、ご不明な点がある場合など、お住まいの市町村にお問い合わせをすることができます。
・「接種券」は市町村から送付されます。
・予約時に接種するワクチンの種類をご確認ください。

◎住民票がある場所（住所地）以外での接種が可能な場合があります。

・入院・入所中の方や、かかりつけ医療機関でワクチンを受けたい方 ➡ 医療機関でご相談ください。

・お住まいが住所地と異なる方（※）
➡ コロナワクチンナビでご確認いただくか、実際にお住まいの市町村の相談窓口にお問い合わせください。

・国・都道府県等が設置する大規模接種会場での接種やお勤め先等での職域接種を受けたい方
➡ 住所地以外でもワクチンを受けることができます。会場ごとの案内をご確認ください。

（※）「住所地外接種届出済証」が必要です。

基礎疾患を有する方等の接種について

基礎疾患を有する方の範囲

○令和3年度中に65歳に達しない者であって、以下の病気や状態の方で、通院／入院している方

・慢性の呼吸器の病気
・慢性の心臓病（高血圧を含む。）
・慢性の腎臓病
・慢性の肝臓病（肝硬変等）
・インスリンや飲み薬で治療中の糖尿病又は他の病気を併発している糖尿病
・血液の病気（ただし、鉄欠乏性貧血を除く。）
・免疫の機能が低下する病気（治療や緩和ケアを受けている悪性腫瘍を含む。）
・ステロイドなど、免疫の機能を低下させる治療を受けている
・免疫の異常に伴う神経疾患や神経筋疾患
・神経疾患や神経筋疾患が原因で身体の機能が衰えた状態（呼吸障害等）
・染色体異常
・重症心身障害（重度の肢体不自由と重度の知的障害とが重複した状態）
・睡眠時無呼吸症候群
・重い精神疾患（精神疾患の治療のため入院している、精神障害者保健福祉手帳を所持している、又は自立支援医療（精神通院医療）で「重度かつ継続」に該当する場合）や知的障害（療育手帳を所持している場合）

○基準（BMI30以上）を満たす肥満の方

※BMI＝体重（kg）÷身長（m）÷身長（m）
※BMI30の目安：身長170cmで体重87kg、身長160cmで体重77kg

基礎疾患を有する方がワクチンを受けるには

・診断書等の証明書は必要ありません。接種の際に、予診票の質問事項に記載してください。
注：重い精神疾患や知的障害の方の場合は、精神障害者保健福祉手帳、自立支援医療受給者証、療育手帳を提示することもできます。

・基礎疾患を有する方が、かかりつけの医療機関で接種する場合は、住所地以外の市町村でも接種できます。注：この場合、住所地外接種届出済証は不要です。

・かかりつけの医療機関が接種を行っていない場合には、住所地の自治体等で接種できるように住所地の自治体にご相談ください。

12～15歳のお子様の接種について

・コミナティ（ファイザー社ワクチン）は12歳以上のお子様も接種を受けることができます。
・お子様の接種に当たっては、予診票に保護者の署名がなければ受けることができません。
・原則として保護者の同伴が必要ですが、中学生以上のお子様への接種については、接種医療機関（接種会場）が認める場合には、保護者の同伴がなくても、予防接種を受けることができます。

詳しい情報は、厚生労働省ホームページ「〈12～15歳のお子様の保護者の方へ〉新型コロナワクチン予防接種についての説明書」をご覧ください。

ワクチンを受ける当日について

◎ワクチンを受ける前の注意点

接種前にご自宅で体温を測定し、明らかな発熱がある場合や体調が悪い場合などは、接種を控え、予約した市町村の窓口や医療機関にご連絡ください。



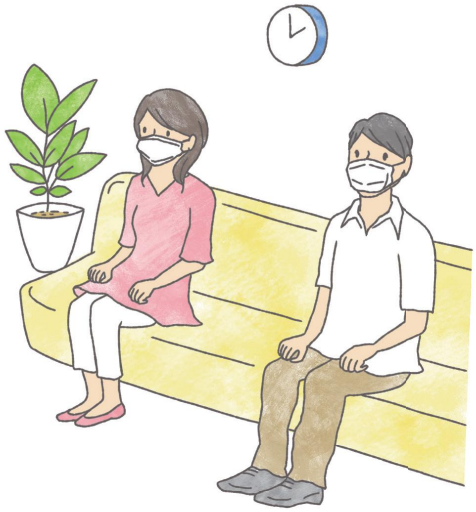
通常、上腕の三角筋に注射するため

肩を出しやすい服装でお越しください。

◎ワクチンを受けた後の注意点

接種会場にて

ワクチンを受けた後は、15分以上は接種会場で座って様子をみてください(※)。



(※)過去にアナフィラキシーを含む、重いアレルギー症状を起こしたことがある方や、採血等で気分が悪くなったり、失神等を起こしたことがある方は、30分ほどお待ちください。

接種後、すぐに現れる可能性のある症状について

◯アナフィラキシー

・薬や食物が体に入ってから、短時間で起こることのあるアレルギー反応です。
・じんま疹などの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸器症状が、急に起こります。血圧低下や意識レベルの低下(呼びかけに反応しない)を伴う場合をアナフィラキシーショックと呼びます。
・起こることはまれですが、接種後にもしアナフィラキシーが起こっても、すぐに対応が可能なよう、ワクチンの接種会場や医療機関では、適切な医療体制を整備しています。

◯血管迷走神経反射

・ワクチン接種に対する緊張や、強い痛みをきっかけに、立ちくらみがしたり、血の気が引いて時に気を失うことがあります。
・誰にでも起こる可能性がある体の反応で、通常、横になって休めば自然に回復します。
・倒れてケガをしないように、背もたれのある椅子に座って様子をみてください。

・接種後、数日以内に現れる可能性がある症状については、2ページをご参照ください。

ワクチンを受けた後について

ワクチンは通常、同じワクチンを2回接種します。

標準の接種間隔

コミナティ（ファイザー社）	モデルナ（武田薬品）
通常、3週間の間隔	通常、4週間の間隔

○いずれのワクチンも、標準の接種間隔を超えても、2回目の接種を受けることができますので、なるべく早く2回目の接種を受けましょう。米国やEUの一部の国で、1回目から6週間後までに2回目を接種することを目安としています。
○2回目の予約方法については、1回目に受けた医療機関・接種会場や市町村の案内をご確認ください。
○接種後に現れた症状の種類によっては、2回目の接種は控えた方がよいこともあります。接種後に気になる症状が現れた方は、2回目を受けるかどうかも含めて、ワクチンを受けた医療機関やかかりつけ医にご相談ください。

ワクチンを受けた後も
マスクの着用など、感染予防対策の継続をお願いします。

ワクチンを受けた方は、新型コロナウイルス感染症の発症を予防できると期待されていますが、他の方への感染をどの程度予防できるかはまだ十分には分かっていません。また、ワクチン接種が徐々に進んでいく段階では、すぐに多くの方が予防接種を受けられるわけではなく、ワクチンを受けた方も受けていない方も、共に社会生活を営んでいくことになります。

このため、皆さまに感染予防対策を継続していただくようお願いします。

具体例 ）



「3つの密（密集・密接・密閉）」の回避

マスクの着用

石けんによる手洗い

手指消毒用アルコールによる消毒の励行

ご相談先など

◎新型コロナワクチンに関する相談先

ワクチン接種後に 体に異常があるとき	➡	ワクチンを受けた医療機関やかかりつけ医、 市町村や都道府県の窓口
ワクチン接種全般に 関するお問い合わせ	➡	市町村の窓口

◎予防接種健康被害救済制度について

予防接種では健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことはできないことから、救済制度が設けられています。

新型コロナワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金の給付など）が受けられます。

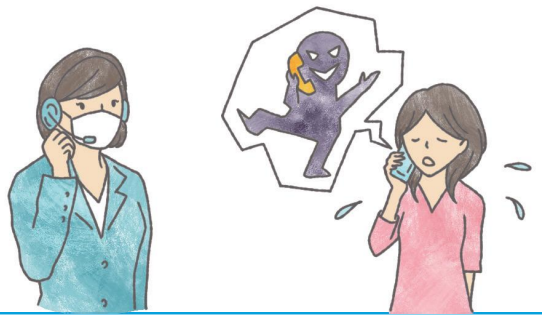
申請に必要となる手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

新型コロナワクチンに便乗した詐欺にご注意ください!

新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種のために必要とかたり、金銭や個人情報をだましとろうとする電話に関する相談が消費生活センターへ寄せられています。

市町村等が、ワクチン接種のために金銭や個人情報を電話・メールで求めることはありません。

困ったときは一人で悩まず、消費者ホットライン188（局番なし）にご相談ください。



新型コロナワクチンの詳しい情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

厚労　コロナ　ワクチン　検索

ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。

2021年9月14日

バキスゼブリア（アストラゼネカ社）について

新型コロナワクチン接種のお知らせ

接種費用
無料
（全額公費）



未来につながる新型コロナ対策が、ひとつ増えました。

ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

新型コロナワクチンの有効性と安全性

新型コロナワクチンは、発症を予防し、
重症者や死亡者の発生をできる限り減らすことを目的としています。

◎接種の対象：

バキスゼブリアは原則として40歳以上の方が接種の対象です。（18歳以上の方も接種を受けることが可能な場合があります。詳しくは、3ページをご覧ください。）

◎ワクチンの効果：

新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）による感染症の予防

ワクチンを受けた人の方が受けていない人よりも、**新型コロナウイルス感染症（※1）を発症した人が少ない**ということがわかっています。
（臨床試験を通じて、約70%の発症予防効果が確認されています。）



（※1）新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）による感染症が発症すると、熱や咳など風邪によく似た症状がみられます。軽症のまま治癒する人も多い一方、症状が重くなると、呼吸困難などの肺炎の症状が悪化し、死に至る場合もあります。

◎ワクチンの安全性：

接種後、数日以内に現れる可能性がある症状

発現割合	症　状
50%以上	接種部位の痛み、疲労、頭痛
10-50%	倦怠感、悪寒、関節痛、吐き気、接種部位の熱感・かゆみ
1-10%	発熱、嘔吐、接種部位の腫れ・発赤・硬結、四肢痛、無力症

バキスゼブリア（アストラゼネカ社）添付文書より改編

・これらの症状の大部分は、接種後数日以内に回復しています。
・1回目接種後の方が、2回目接種後よりも高い頻度で症状を認めます。

○接種後すぐにアナフィラキシーや血管迷走神経反射が起こる可能性があります。詳しくは6ページをご参照ください。
○ごくまれですが、ワクチン接種後に血小板減少症を伴う血栓症（※2）や毛細血管漏出症候群（※3）、ギラン・バレー症候群等の脱髄疾患（※4）を発症した例が、海外で報告されています。次のような症状があれば、すぐに医療機関を受診し、ワクチンを受けたことを伝えてください。

（※2）持続する激しい頭痛、目のかすみ、息切れ、錯乱、けいれん、胸の痛み、足のむくみや痛み、持続する腹痛、接種部位以外の内出血（あざ）などの症状がみられます。
（※3）手足のむくみ、低血圧などの症状がみられます。
（※4）手足の力が入りにくい、しびれなどの症状がみられます。

バキスゼブリア（アストラゼネカ社）の
接種をお考えの方へ

◎メリットについて

このワクチンは、接種対象の方（18歳以上）に、年齢にかかわらず効果があります。

ただし、新型コロナウイルス感染症による死亡や重症化のリスクは、年齢が上がるほど高くなるため、**ワクチン接種のメリットは、年齢が上がるほど大きくなります。**

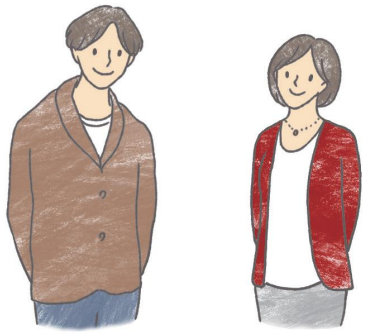
◎リスクについて

一方で、極めてまれですが、接種後に血小板減少症を伴う血栓症などの病気が報告されています。詳しくは、2ページの「ワクチンの安全性」（※2～※4）をご参照ください。

接種するメリットが、リスクを大きく上回る方に接種いただけるよう、
原則として40歳以上の方を接種の対象としています。

ただし、18歳以上40歳未満でも、次のような方は、このワクチンを接種できます。

・他の新型コロナワクチンの含有成分にアレルギーがある場合
・海外でこのワクチンの1回目の接種を受けた方が、国内で2回目の接種を受ける場合
・国が行う健康状況調査に参加するため、十分な説明を受けた上で投与を受ける場合



■ アストラゼネカ社のワクチン「バキスゼブリア」は、「ウイルスベクターワクチン」です。

新型コロナウイルスの表面のタンパクをつくることのできる設計図(DNA)を、風邪のウイルス（アデノウイルス）に組み込んで、ワクチンとして投与します。

これにより、人の体内で新型コロナウイルスの表面のタンパクがつくられ、これに対する免疫ができるものです。ワクチンとして投与する風邪のウイルス（アデノウイルス）は、人の体内で増殖しないような工夫がなされています。

ワクチンを受けるのに注意が必要な方など

詳しい情報は、厚生労働省ホームページ
「新型コロナワクチンQ&A『私は接種できますか?』」をご覧ください。

以下に当てはまる方は、ワクチンを受けることができない場合や、注意が必要な場合があります。接種に不安がある方は、かかりつけ医等にワクチンを受けて良いかどうかご相談ください。

受けることができない方	○明らかな発熱がある方や、重い急性疾患にかかっている方 ○ワクチンの成分（※1）に対し、重度の過敏症を起こしたことがある方 ○新型コロナワクチン接種後に、血小板減少症を伴う静脈または動脈の血栓症を起こしたことがある方 ○毛細血管漏出症候群にかかったことがある方
注意が必要な方	○現在、何らかの病気で治療中の方 ・心臓病、腎臓病、肝臓病、血液疾患、免疫不全で治療中の方 ・血が止まりにくい病気の方や、血をサラサラにする薬（※2）を飲んでいる方 ○以下の様な症状が出たことがある方 ・薬や食品に対する重いアレルギー症状 ・けいれん（ひきつけ）

（※1）ポリソルベートなどが成分として含まれます。ポリソルベートは、既に承認されている複数のワクチンに含まれています。また、様々な医薬品に添加剤として含まれており、化粧品にも含まれていることがあります。その他の成分や、詳細については、厚生労働省ホームページをご参照ください。

（※2）このワクチンは、筋肉内に注射をします。そのため、抗凝固薬（ワーファリン®、プラザキサ®、イグザレルト®、エリキュース®、リクシアナ®）を内服中の方は、接種後の出血に注意が必要です。

○妊娠中・授乳中・妊娠を計画している方もワクチンを接種することができます。新型コロナワクチンが妊娠、胎児、母乳、生殖器に悪影響を及ぼすという報告は現時点でありません。受けるかお悩みの方は、主治医にもご相談ください。

○新型コロナウイルスに感染したことのある方も、ワクチンを接種することができます。現時点では通常通り、2回接種します。いつから接種できるか不明な場合は、主治医にご確認ください。

ワクチン接種の申し込み方法など

■「接種券」を確認する

お住まいの市町村から「接種券」が届きますので、同封の案内をよく読んで、接種の準備を進めてください。



■ 医療機関/接種会場を探す

・お住まいの都道府県や市町村のホームページなどで、ワクチンを受けることができる医療機関や接種会場を確認しましょう。
・バキスゼブリア（アストラゼネカ社）を受けることができる会場は、コロナワクチンナビでも表示されます。

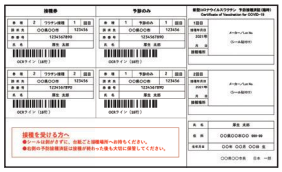
接種総合案内サイト 「コロナワクチンナビ」	サイトアドレス： https://v-sys.mhlw.go.jp

■ 予約する

ワクチンを受けたい医療機関／市町村にお問い合わせください。ワクチンの種類は複数あります。あなたがどのワクチンを接種するかは、予約の際にご確認ください。

■ 当日の持ち物を準備する

・接種券（はがさず台紙ごとお持ちください）
・本人確認書類
（マイナンバーカード、運転免許証、健康保険証 等）



「接種券」（例）

＋



マイナンバーカード 等

・医療機関や接種会場が探せない場合や、ご不明な点がある場合など、お住まいの市町村にお問い合わせをすることができます。
・「接種券」は市町村から送付されます。
・予約時に接種するワクチンの種類をご確認ください。

◎バキスゼブリア（アストラゼネカ社）のワクチン接種のときには、「新型コロナワクチン接種の予診票（アストラゼネカ用）」に記入して、予診を受けてください。

ワクチンを受ける際には、感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について、正しい知識を持っていただいた上で、ご本人の意思に基づいて接種をご判断いただきますようお願いします。受ける方の同意なく、接種が行われることはありません。

職場や周りの方などに接種を強制したり、接種を受けていない人に対して差別的な対応をすることはあってはなりません。



ワクチンを受ける当日について

◎ワクチンを受ける前の注意点

接種前にご自宅で体温を測定し、明らかな発熱がある場合や体調が悪い場合などは、接種を控え、予約した市町村の窓口や医療機関にご連絡ください。



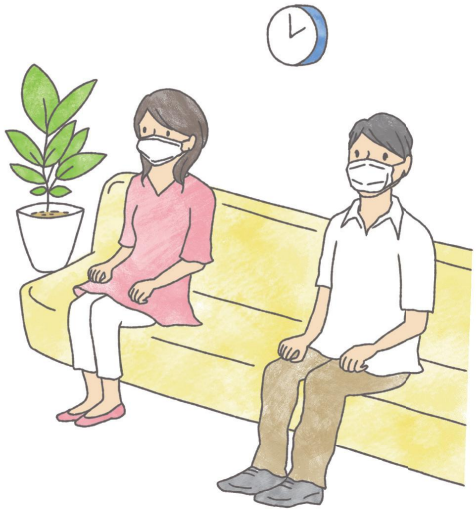
通常、上腕の三角筋に注射するため

肩を出しやすい服装でお越しください。

◎ワクチンを受けた後の注意点

接種会場にて

ワクチンを受けた後は、15分以上は接種会場で座って様子をみてください（※）。



（※）過去にアナフィラキシーを含む、重いアレルギー症状を起こしたことがある方や、採血等で気分が悪くなったり、失神等を起こしたことがある方は、30分ほどお待ちください。

接種後、すぐに現れる可能性のある症状について

◯アナフィラキシー

・薬や食物が体に入ってから、短時間で起こることのあるアレルギー反応です。
・じんま疹などの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸器症状が、急に起こります。血圧低下や意識レベルの低下（呼びかけに反応しない）を伴う場合をアナフィラキシーショックと呼びます。
・起こることはまれですが、接種後にもしアナフィラキシーが起こっても、すぐに対応が可能なよう、ワクチンの接種会場や医療機関では、適切な医療体制を整備しています。

◯血管迷走神経反射

・ワクチン接種に対する緊張や、強い痛みをきっかけに、立ちくらみがしたり、血の気が引いて時に気を失うことがあります。
・誰にでも起こる可能性がある体の反応で、通常、横になって休めば自然に回復します。
・倒れてケガをしないように、背もたれのある椅子に座って様子をみてください。

接種後に現れる可能性がある症状については、2ページをご参照ください。

ワクチンを受けた後について

ワクチンは通常、同じワクチンを2回接種します。

標準の接種間隔

通常、4～12週間の間隔

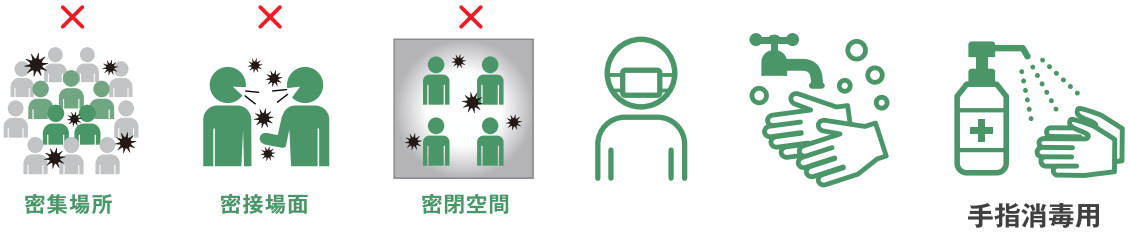
○最大の効果を得るためには、8週間の間隔を空けて接種することが望ましいとされています。
○標準の接種間隔を超えても、2回目の接種を受けることができますので、なるべく早く2回目を受けましょう。
○2回目の予約方法については、1回目に受けた医療機関･接種会場や自治体の案内をご確認ください。
○接種後に現れた症状の種類によっては、2回目の接種は控えた方がよいこともあります。接種後に気になる症状が現れた方は、2回目を受けるかどうかも含めて、ワクチンを受けた医療機関やかかりつけ医にご相談ください。

ワクチンを受けた後も
マスクの着用など、感染予防対策の継続をお願いします。

ワクチンを受けた方は、新型コロナウイルス感染症の発症を予防できると期待されていますが、他の方への感染をどの程度予防できるかはまだ十分には分かっていません。また、ワクチン接種が徐々に進んでいく段階では、すぐに多くの方が予防接種を受けられるわけではなく、ワクチンを受けた方も受けていない方も、共に社会生活を営んでいくことになります。

このため、皆さまに感染予防対策を継続していただくようお願いします。

具体例 ）



「3つの密（密集･密接･密閉）」の回避　マスクの着用　石けんによる手洗い　手指消毒用アルコールによる消毒の励行

ご相談先など

◎新型コロナワクチンに関する相談先

ワクチン接種後に 体に異常があるとき	➡	ワクチンを受けた医療機関やかかりつけ医、 市町村や都道府県の窓口
ワクチン接種全般に 関するお問い合わせ	➡	市町村の窓口

◎予防接種健康被害救済制度について

予防接種では健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことはできないことから、救済制度が設けられています。

新型コロナワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金の給付など）が受けられます。

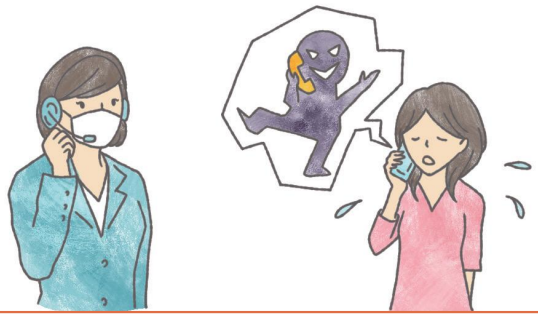
申請に必要となる手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

新型コロナワクチンに便乗した詐欺にご注意ください!

新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種のために必要とかたり、金銭や個人情報をだましとろうとする電話に関する相談が消費生活センターへ寄せられています。

市町村等が、ワクチン接種のために金銭や個人情報を電話・メールで求めることはありません。

困ったときは一人で悩まず、消費者ホットライン188（局番なし）にご相談ください。



新型コロナワクチンの詳しい情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

厚労　コロナ　ワクチン　検索

ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。

接種費用（全額公費）**無料**

2021年7月13日

～12歳以上のお子様と保護者の方へ～

コミナティ（ファイザー社）

新型コロナワクチン接種についてのお知らせ

12歳以上の人は新型コロナワクチンを受けることができます。
保護者の方とこの説明書を読んで、ワクチンを受けるか相談しましょう。

新型コロナワクチンは何のために受けるの？

新型コロナワクチンを受けることで、新型コロナにかかりにくくなります。

ワクチンを受けると、体の中で新型コロナとたたかう仕組み（免疫）ができて、実際にウイルスが体に入ってきたときに、すぐたたかえるように準備します。ワクチンを受けることで、新型コロナにかかる人が減り、社会生活の制限が減っていくことも期待されています。



◎ワクチンを受ける日に注意すること



37.5℃以上の熱があるときや、体調が悪いときは、ワクチンを受けられないので、そのことをお母さんやお父さんに伝えましょう。



ワクチンは肩の近くに注射します。
肩の出しやすい服で、受けに行きましょう。



ワクチンを受けた後、**15分以上はすわって様子をみましょう。**（30分様子をみる場合もあります。）



当日はおふろに入るなど、いつも通りの生活をするのは問題ありませんが、**激しい運動はやめましょう。**

このワクチンは間隔をあけて、合計2回接種します。

大切！守ってほしいこと

ワクチンを早く受けている人や、ワクチンを受けられない理由がある人など、様々な人がいます。ワクチンを受けている、受けていないといった理由で**周りの人を悪く言ったり、いじめたりすることは、絶対にあってはなりません。**

ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

うらのページも見てください

ワクチンを受けた後には、次のような症状が出ることがあります。



他のワクチンに比べて、発熱や痛みなどが出やすいですが、
2～3日で自然と良くなることがわかっています。
症状が出たら、あわてずにきちんと周りの大人に知らせましょう。

（ すぐに起こることがある症状 ）



●アナフィラキシー

重いアレルギー反応で、じんましんや息苦しさなどの症状が出ます。
からだがかゆくなったり、咳が出たりしたときは、すぐに周りの大人に伝えましょう。

●血管迷走神経反射

ワクチンを受けることに対する緊張や痛みをきっかけに、血の気が引いて、
立ちくらみがしたり、気を失ったりすることがあります。横になって休めば、自然に治ります。
たおれてケガをしないように背もたれのあるイスですわって休みましょう。

（ 数日以内に起こることがある症状 ）

- 注射を受けたすぐ後よりも、受けた日の夜や次の日に注射した部分の痛みを感じる人が多いです。
- 疲れた感じや発熱などは、1回目より2回目にワクチンを受けたときの方が多くの人に見られます。
- 注射を受けて数日以内に、胸のあたりの痛み等が出た場合は、周りの大人に伝えましょう。

（※）（保護者の方へ）ワクチン接種後に、ごくまれに心筋炎が報告されています。

症状が出た人の割合	症　状
50%以上	注射した部分の痛み、疲れた感じ、頭痛
10－50%	筋肉痛、寒気、関節痛、発熱
1－10%	注射した部分のはれ・赤み、げり、嘔吐

**ワクチンを受けた人もいれば、受けていない人もいます。ワクチンを受けた後も、
今までのように、しっかり手洗い・消毒、マスクなどの感染予防対策を続けましょう。**


密集した場所


密接した場面


密閉された空間


マスクの着用


石けんで手洗い


手指の消毒

新型コロナワクチンの有効性・安全性などの詳しい情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

新型コロナワクチン　検索

ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。

接種費用（全額公費）**無料**

2021年7月30日

～12歳以上のお子様と保護者の方へ～

COVID-19ワクチンモデルナ（武田薬品）

新型コロナワクチン接種についてのお知らせ

12歳以上の人は新型コロナワクチンを受けることができます。
保護者の方とこの説明書を読んで、ワクチンを受けるか相談しましょう。

新型コロナワクチンは何のために受けるの？

新型コロナワクチンを受けることで、新型コロナにかかりにくくなります。

ワクチンを受けると、体の中で新型コロナとたたかう仕組み（免疫）ができて、実際にウイルスが体に入ってきたときに、すぐたたかえるように準備します。ワクチンを受けることで、新型コロナにかかる人が減り、社会生活の制限が減っていくことも期待されています。



◎ワクチンを受ける日に注意すること



37.5℃以上の熱があるときや、体調が悪いときは、ワクチンを受けられないので、そのことをお母さんやお父さんに伝えましょう。



ワクチンは肩の近くに注射します。
肩の出しやすい服で、受けに行きましょう。



ワクチンを受けた後、**15分以上はすわって様子をみましょう。**（30分様子をみる場合もあります。）



当日はおふろに入るなど、いつも通りの生活をするのは問題ありませんが、**激しい運動はやめましょう。**

このワクチンは間隔をあけて、合計2回接種します。

大切！守ってほしいこと

ワクチンを早く受けている人や、ワクチンを受けられない理由がある人など、様々な人がいます。ワクチンを受けている、受けていないといった理由で周りの人を悪く言ったり、いじめたりすることは、絶対にあってはなりません。

ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

うらのページも見てください

ワクチンを受けた後には、次のような症状が出ることがあります。



他のワクチンに比べて、発熱や痛みなどが出やすいですが、
2～3日で自然と良くなることがわかっています。
症状が出たら、あわてずにきちんと周りの大人に知らせましょう。

（ すぐに起こることがある症状 ）

15～30分は
すわって!



●アナフィラキシー

重いアレルギー反応で、じんましんや息苦しさなどの症状が出ます。
からだがかゆくなったり、咳が出たりしたときは、すぐに周りの大人に伝えましょう。

●血管迷走神経反射

ワクチンを受けることに対する緊張や痛みをきっかけに、血の気が引いて、
立ちくらみがしたり、気を失ったりすることがあります。横になって休めば、自然に治ります。
たおれてケガをしないように背もたれのあるイスですわって休みましょう。

（ 数日以内に起こることがある症状 ）

・注射を受けたすぐ後よりも、受けた日の夜や次の日に注射した部分の痛みを感じる人が多いです。
・発熱や疲れた感じなどは、1回目より2回目にワクチンを受けたときの方が多くの人に見られます。
（表では、頭痛、疲れた感じ、発熱は、より多くの人に症状が見られる2回目の接種での割合を示しています。）

症状が出た人の割合	症　状
50%以上	注射した部分の痛み、頭痛、疲れた感じ
10－50%	リンパの腫れ、注射した部分の赤み・腫れ、筋肉痛、関節痛、吐き気・嘔吐、寒気、発熱

◯注射を受けて数日以内に、胸のあたりの痛み等が出た場合は、周りの大人に伝えましょう。
（※）（保護者の方へ）ワクチン接種後に、ごくまれに心筋炎が報告されています。
◯注射を受けて7日目以降に、注射した部分の痛みや腫れ、赤みなどが出る可能性があります。

**ワクチンを受けた人もいれば、受けていない人もいます。ワクチンを受けた後も、
今までのように、しっかり手洗い・消毒、マスクなどの感染予防対策を続けましょう。**


密集した場所


密接した場面


密閉された空間


マスクの着用


石けんで手洗い


手指の消毒

新型コロナワクチンの有効性・安全性などの詳しい情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

新型コロナワクチン　検索

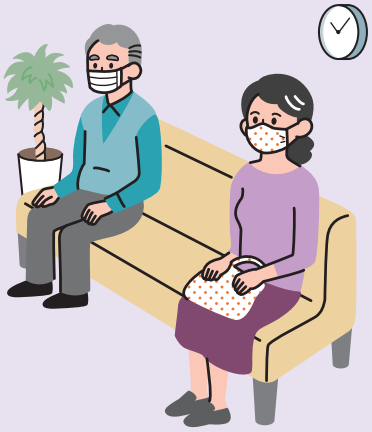
ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。

コミナティ（ファイザー社）ワクチン

コミナティ（ファイザー社）を接種した方へ

2021年7月13日

新型コロナワクチンを受けた後の注意点



ワクチンを受けた後は

15分以上は接種会場で座って様子をみてください※。

お待ちの間も、感染対策をお願いします。

（ マスクをする、隣の人と距離をとる、会話を控えるなど ）

※過去にアナフィラキシーを含む、重いアレルギー症状を起こしたことがある方や、採血等で気分が悪くなったり、失神等を起こしたことがある方は、３０分ほどお待ちください。

接種日当日

■接種後、すぐに現れる可能性のある症状について

アナフィラキシー	・薬や食物が体に入ってから、短時間で起こることのあるアレルギー反応です。 ・じんま疹などの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸器症状が、急に起こります。血圧低下や意識レベルの低下（呼びかけに反応しない）を伴う場合をアナフィラキシーショックと呼びます。 ・起こることは極めてまれですが、接種後にもしアナフィラキシーが起こっても、すぐに対応が可能なよう、ワクチンの接種会場や医療機関では、医薬品などの準備をしています。
血管迷走神経反射	・ワクチン接種に対する緊張や、強い痛みをきっかけに、立ちくらみがしたり、血の気が引いて時に気を失うことがあります。 ・誰にでも起こる可能性がある体の反応で、通常、横になって休めば自然に回復します。 ・倒れてケガをしないように、背もたれのある椅子に座って様子をみてください。



ワクチンを受けた日の注意点

○通常の生活は問題ありませんが、激しい運動や過度の飲酒等は控えてください。
○接種部位は清潔に保ちましょう。接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分は強くこすらないようにしましょう。

〜数日

■接種後、数日以内に現れる可能性のある症状について

発現割合	症　状
50%以上	**接種部位の痛み、疲労、頭痛**
10－50%	**筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢、発熱、接種部位の腫れ**
1－10%	**吐き気、嘔吐**

コミナティ添付文書より改編

・接種直後よりも翌日に痛みを感じている方が多いです。
・これらの症状の大部分は、接種後数日以内に回復しています。
・疲労や関節痛、発熱など、1回目より2回目の方が、頻度が高くなる症状もあります。

○ごくまれですが、軽症の心筋炎・心膜炎を発症した例が報告されています。

・ワクチンを受けた後、数日以内に、胸痛、動悸、息切れ、むくみ等の症状があれば、すぐに医療機関を受診し、ワクチンを受けたことを伝えてください。
・報告されているものでは、若い方、特に男性において2回目の接種後数日以内に発症する例が多い傾向が見られます。
・心筋炎と診断された場合には、一般的には入院が必要となりますが、多くは安静によって自然回復するとされています。

ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

◎新型コロナワクチンに関する相談先

ワクチン接種後に、体に異常があるとき	➡ ワクチンを受けた医療機関やかかりつけ医、市町村や都道府県の窓口
ワクチン接種全般に関するお問い合わせ	➡ 市町村の窓口

◎予防接種健康被害救済制度について

予防接種では健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことはできないことから、救済制度が設けられています。

新型コロナワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金の給付など）が受けられます※。

申請に必要となる手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

※その健康被害が、接種を受けたことによるものであると厚生労働大臣が認定したときは、市町村により給付が行われます。認定にあたっては、予防接種・感染症・医療・法律の専門家により構成される国の疾病・障害認定審査会により、因果関係を判断する審査が行われます。

ワクチンは2回接種します

●1回目の接種の方へ

・ワクチンの効果を十分得るために、同じワクチンを一定の間隔を空けて2回受ける必要があります。
・2回目の接種は、本日（1回目）から通常3週間空けて、できるだけお早めに受けてください。（※）
・2回目の予約方法については、1回目に受けた医療機関や市町村の案内をご確認ください。
・接種後に現れた症状の種類によっては、2回目の接種を受けない方がよいこともあります。
接種後に気になる症状が現れた方は、2回目を受けるかどうかも含めて、ワクチンを受けた医療機関やかかりつけ医にご相談ください。

（※）米国やEUの一部の国で、1回目から6週間後までに2回目を接種することを目安としています。



●2回目の接種の方へ

・ワクチン接種はこれで終了になります。
・接種後は、1回目と同様に体調に変化がないか注意してください。

ワクチンを受けた後も、マスクの着用など、感染予防対策の継続をお願いします。

ワクチンを受けた方は、新型コロナウイルス感染症の発症を予防できると期待されていますが、他の方への感染をどの程度予防できるかはまだわかっていません。また、ワクチン接種が徐々に進んでいく段階では、すぐに多くの方が予防接種を受けられるわけではなく、ワクチンを受けた方も受けていない方も、共に社会生活を営んでいくことになります。

このため、皆さまに感染予防対策を継続していただくようお願いします。

具体的には、「3つの密（密集・密接・密閉）」の回避、マスクの着用、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒の励行などをお願いします。

新型コロナワクチンの詳しい情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

厚労　コロナ　ワクチン　検索

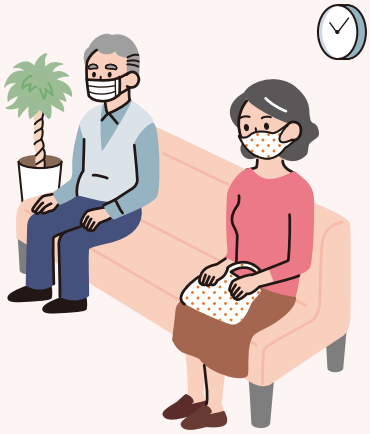
ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。

モデルナ（武田薬品）ワクチン

COVID-19 ワクチンモデルナ（武田薬品）を接種した方へ

2021年7月13日

新型コロナワクチンを受けた後の注意点



ワクチンを受けた後は

15分以上は接種会場で座って様子をみてください(※)。

お待ちの間も、感染対策をお願いします。

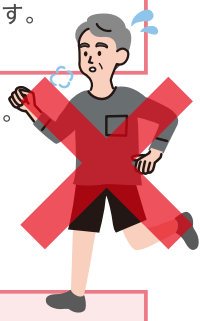
（ マスクをする、隣の人と距離をとる、会話を控えるなど ）

(※) 過去にアナフィラキシーを含む、重いアレルギー症状を起こしたことがある方や、採血等で気分が悪くなったり、失神等を起こしたことがある方は、３０分ほどお待ちください。

接種日当日

■接種後、すぐに現れる可能性のある症状について

アナフィラキシー	・薬や食物が体に入ってから、短時間で起こることのあるアレルギー反応です。 ・じんま疹などの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸器症状が、急に起こります。血圧低下や意識レベルの低下（呼びかけに反応しない）を伴う場合をアナフィラキシーショックと呼びます。 ・起こることは極めてまれですが、接種後にもしアナフィラキシーが起こっても、すぐに対応が可能なよう、ワクチンの接種会場や医療機関では、医薬品などの準備をしています。
血管迷走神経反射	・ワクチン接種に対する緊張や、強い痛みをきっかけに、立ちくらみがしたり、血の気が引いて時に気を失うことがあります。 ・誰にでも起こる可能性がある体の反応で、通常、横になって休めば自然に回復します。 ・倒れてケガをしないように、背もたれのある椅子に座って様子をみてください。



ワクチンを受けた日の注意点

○通常の生活は問題ありませんが、激しい運動や過度の飲酒等は控えてください。
○接種部位は清潔に保ちましょう。接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分は強くこすらないようにしましょう。

～数日

■接種後、数日以内に現れる可能性のある症状について

発現割合	症　状
50%以上	**接種部位の痛み、疲労、頭痛、筋肉痛**
10－50%	**関節痛、悪寒、吐き気・嘔吐、リンパ節症、発熱、接種部位の腫れ、発赤・紅斑**
1－10%	**接種後7日目以降の接種部位の痛みなど（※）**

（※）接種部位の痛みや腫れ、紅斑

COVID-19ワクチンモデルナ（武田薬品）添付文書より改編

・接種直後よりも翌日に痛みを感じている方が多いです。
・これらの症状の大部分は、接種後数日以内に回復しています。
・疲労や関節痛、発熱など、1回目より2回目の方が、頻度が高くなる症状もあります。

○ごくまれですが、軽症の心筋炎・心膜炎を発症した例が報告されています。

・ワクチンを受けた後、数日以内に、胸痛、動悸、息切れ、むくみ等の症状があれば、すぐに医療機関を受診し、ワクチンを受けたことを伝えてください。
・報告されているものでは、若い方、特に男性において2回目の接種後数日以内に発症する例が多い傾向が見られます。
・心筋炎と診断された場合には、一般的には入院が必要となりますが、多くは安静によって自然回復するとされています。

ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

◎新型コロナワクチンに関する相談先

ワクチン接種後に、体に異常があるとき	→ ワクチンを受けた医療機関やかかりつけ医、市町村や都道府県の窓口
ワクチン接種全般に関するお問い合わせ	→ 市町村の窓口

◎予防接種健康被害救済制度について

予防接種では健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことはできないことから、救済制度が設けられています。

新型コロナワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金の給付など）が受けられます（※）。

申請に必要となる手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

（※）その健康被害が、接種を受けたことによるものであると厚生労働大臣が認定したときは、市町村により給付が行われます。認定にあたっては、予防接種・感染症・医療・法律の専門家により構成される国の疾病・障害認定審査会により、因果関係を判断する審査が行われます。

ワクチンは2回接種します

●1回目の接種の方へ

・ワクチンの効果を十分得るために、同じワクチンを一定の間隔を空けて2回受ける必要があります。
・2回目の接種は、本日（1回目）から通常4週間空けて、できるだけお早めに受けてください（※）。
・2回目の予約方法については、1回目に受けた医療機関・接種会場や市町村の案内をご確認ください。
・接種後に現れた症状の種類によっては、2回目の接種を受けない方がよいこともあります。
接種後に気になる症状が現れた方は、2回目を受けるかどうかも含めて、
ワクチンを受けた 医療機関やかかりつけ医にご相談ください。

（※）米国やEUの一部の国で、1回目から6週間後までに2回目を接種することを目安としています。



●2回目の接種の方へ

・ワクチン接種はこれで終了になります。
・接種後は、1回目と同様に体調に変化がないか注意してください。

ワクチンを受けた後も、マスクの着用など、感染予防対策の継続をお願いします。

ワクチンを受けた方は、新型コロナウイルス感染症の発症を予防できると期待されていますが、他の方への感染をどの程度予防できるかはまだ十分にはわかっていません。また、ワクチン接種が徐々に進んでいく段階では、すぐに多くの方が予防接種を受けられるわけではなく、ワクチンを受けた方も受けていない方も、共に社会生活を営んでいくことになります。

このため、皆さまに感染予防対策を継続していただくようお願いします。

具体的には、「3つの密（密集・密接・密閉）」の回避、マスクの着用、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒の励行などをお願いします。

新型コロナワクチンの詳しい情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

厚労　コロナ　ワクチン　検索

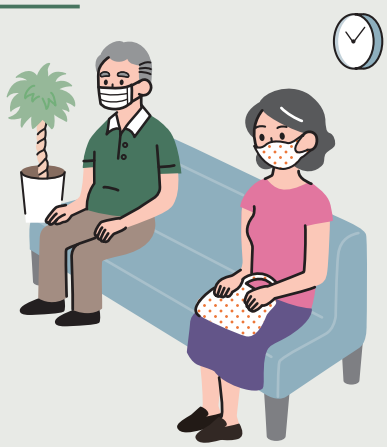
ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。

アストラゼネカ社
ワクチン

バキスゼブリア（アストラゼネカ社）を接種した方へ

2021年9月14日

新型コロナワクチンを受けた後の注意点



ワクチンを受けた後は

15分以上は接種会場で座って様子をみてください※。

お待ちの間も、感染対策をお願いします。

（ マスクをする、隣の人と距離をとる、会話を控えるなど ）

※過去にアナフィラキシーを含む、重いアレルギー症状を起こしたことがある方や、採血等で気分が悪くなったり、失神等を起こしたことがある方は、３０分ほどお待ちください。

接種日当日

■接種後、すぐに現れる可能性のある症状について

アナフィラキシー	・薬や食物が体に入ってから、短時間で起こることのあるアレルギー反応です。 ・じんま疹などの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸器症状が、急に起こります。血圧低下や意識レベルの低下（呼びかけに反応しない）を伴う場合をアナフィラキシーショックと呼びます。 ・起こることは極めてまれですが、接種後にもしアナフィラキシーが起こっても、すぐに対応が可能なよう、ワクチンの接種会場や医療機関では、医薬品などの準備をしています。
血管迷走神経反射	・ワクチン接種に対する緊張や、強い痛みをきっかけに、立ちくらみがしたり、血の気が引いて時に気を失うことがあります。 ・誰にでも起こる可能性がある体の反応で、通常、横になって休めば自然に回復します。 ・倒れてケガをしないように、背もたれのある椅子に座って様子をみてください。



ワクチンを受けた日の注意点

○通常の生活は問題ありませんが、激しい運動や過度の飲酒等は控えてください。
○接種部位は清潔に保ちましょう。接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分は強くこすらないようにしましょう。

～数日

■接種後数日以内に現れることがある症状

発現割合	症　状
50%以上	**接種部位の痛み、疲労、頭痛**
10－50%	**倦怠感、悪寒、関節痛、吐き気、接種部位の熱感・かゆみ**
1－10%	**発熱、嘔吐、接種部位の腫れ・発赤・硬結、四肢痛、無力症**

バキスゼブリア（アストラゼネカ社）添付文書より改編

・これらの症状の大部分は、接種後数日以内に回復しています。
・1回目接種後の方が、2回目接種後よりも高い頻度で症状を認めます。

～約1か月

ごくまれですが、ワクチン接種後に血小板減少症を伴う血栓症（※1）や毛細血管漏出症候群（※2）、ギラン・バレー症候群等の脱髄疾患（※3）を発症した例が、海外で報告されています。次のような症状があれば、すぐに医療機関を受診し、ワクチンを受けたことを伝えてください。

（※1）持続する激しい頭痛、目のかすみ、息切れ、錯乱、けいれん、胸の痛み、足のむくみや痛み、持続する腹痛、接種部位以外の内出血（あざ）などの症状がみられます。
（※2）手足のむくみ、低血圧などの症状がみられます。
（※3）手足の力が入りにくい、しびれなどの症状がみられます。

ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

◎新型コロナワクチンに関する相談先

ワクチン接種後に、体に異常があるとき	➡ ワクチンを受けた医療機関やかかりつけ医、市町村や都道府県の窓口
ワクチン接種全般に関するお問い合わせ	➡ 市町村の窓口

◎予防接種健康被害救済制度について

予防接種では健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことはできないことから、救済制度が設けられています。

新型コロナワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金の給付など）が受けられます※。

申請に必要となる手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

※その健康被害が、接種を受けたことによるものであると厚生労働大臣が認定したときは、市町村により給付が行われます。認定にあたっては、予防接種・感染症・医療・法律の専門家により構成される国の疾病・障害認定審査会により、因果関係を判断する審査が行われます。

ワクチンは2回接種します

●1回目の接種の方へ

・ワクチンの効果を十分得るために、同じワクチンを一定の間隔を空けて2回受ける必要があります。
・2回目の接種は、本日（1回目）から通常4週間から12週間空けて、受けてください。
・最大の効果を得るためには、8週間の間隔を空けて接種することが望ましいとされています。
・2回目の予約方法については、1回目に受けた医療機関・接種会場や自治体の案内をご確認ください。
・接種後に現れた症状の種類によっては、2回目の接種を受けない方がよいこともあります。
接種後に気になる症状が現れた方は、2回目を受けるかどうかも含めて、
ワクチンを受けた 医療機関やかかりつけ医にご相談ください。



●2回目の接種の方へ

・ワクチン接種はこれで終了になります。
・接種後は、1回目と同様に体調に変化がないか注意してください。

ワクチンを受けた後も、マスクの着用など、感染予防対策の継続をお願いします。

ワクチンを受けた方は、新型コロナウイルス感染症の発症を予防できると期待されていますが、他の方への感染をどの程度予防できるかはまだ十分にはわかっていません。また、ワクチン接種が徐々に進んでいく段階では、すぐに多くの方が予防接種を受けられるわけではなく、ワクチンを受けた方も受けていない方も、共に社会生活を営んでいくことになります。

このため、皆さまに感染予防対策を継続していただくようお願いします。

具体的には、「3つの密（密集・密接・密閉）」の回避、マスクの着用、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒の励行などをお願いします。

新型コロナワクチンの詳しい情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

厚労　コロナ　ワクチン　検索

ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。

血をサラサラにする薬を飲まれている方へ

飲んでいるお薬によっては、出血すると止まりにくいことがあるので、
予診票でお薬の種類をおたずねしています。

ワクチンを受けることはできますが、接種後の出血に注意が必要です。

接種（筋肉注射）にあたっての注意点

接種後は、2分間以上、しっかり押さえてください。

- 腕が腫れる・しびれるなどの症状が出たら、医師にご相談ください。
- 接種にあたって、お薬の休薬は必要ありません。

対象のお薬

抗凝固薬

不整脈、血栓症、心臓の手術後の方に処方されることが多いお薬です。

商品名	一般名
ワーファリン	ワルファリンカリウム
プラザキサ	ダビガトランエテキシラート
イグザレルト	リバーロキサバン
エリキュース	アピキサバン
リクシアナ	エドキサバントシル酸塩水和物

血をサラサラにする薬には、次のような薬もありますが、
通常どおり接種を受けていただけます。

抗血小板薬など

動脈硬化、狭心症・心筋梗塞、脳梗塞後、下肢動脈閉塞症の方に処方されることが多いお薬です。

商品名	一般名
バイアスピリン	アスピリン
パナルジン	チクロピジン塩酸塩
プラビックス	クロピドグレル硫酸塩
エフィエント	プラスグレル塩酸塩
プレタール	シロスタゾール
バファリン	アスピリン・ダイアルミネート配合剤
ブリリンタ	チカグレロル

商品名	一般名
コンプラビン配合錠	アスピリン・クロピドグレル硫酸塩
タケルダ配合錠	アスピリン・ランソプラゾール
エパデール	イコサペント酸エチル（EPA）
ドルナー、プロサイリン	ベラプロストナトリウム
アンプラーグ	サルポグレラート塩酸塩

など

2021年9月9日

新型コロナワクチン接種後の副反応への対応方法

（ファイザー社、武田/モデルナ社のワクチンについて）



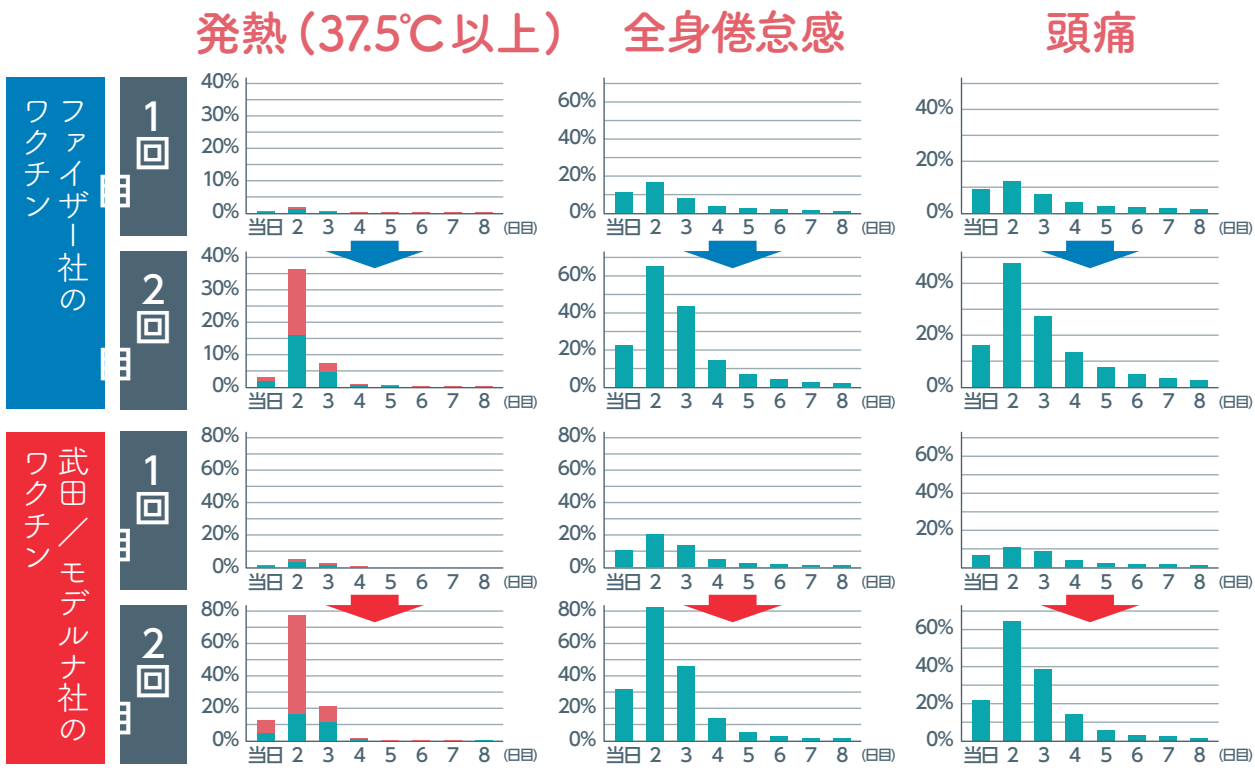
接種後に起こる可能性のある症状（副反応）

- 新型コロナワクチンは、非常に高い効果があります。一方で、接種後に体内で免疫ができる過程で、接種部位の痛み、発熱、倦怠感、頭痛、筋肉や関節の痛み、寒気、下痢等の症状が現れることがあります。
- 厚生労働省では、国内数万人を対象に、新型コロナワクチン接種後の健康状況調査※を実施しましたので、調査結果から、症状の経過等の概要をご報告します。



接種後の症状の経過・頻度

○ いずれの症状も、大部分は接種の翌日をピークに発現し、数日以内に回復しました。
○ 最も多く見られたのは 接種部位の痛み で、1回目、2回目接種後いずれの場合も、接種翌日は80%以上の方に見られました。
○ 発熱や全身倦怠感、頭痛 等は1回目よりも2回目の接種後の方が、症状の発現頻度が高くなる傾向にありました(下図)。



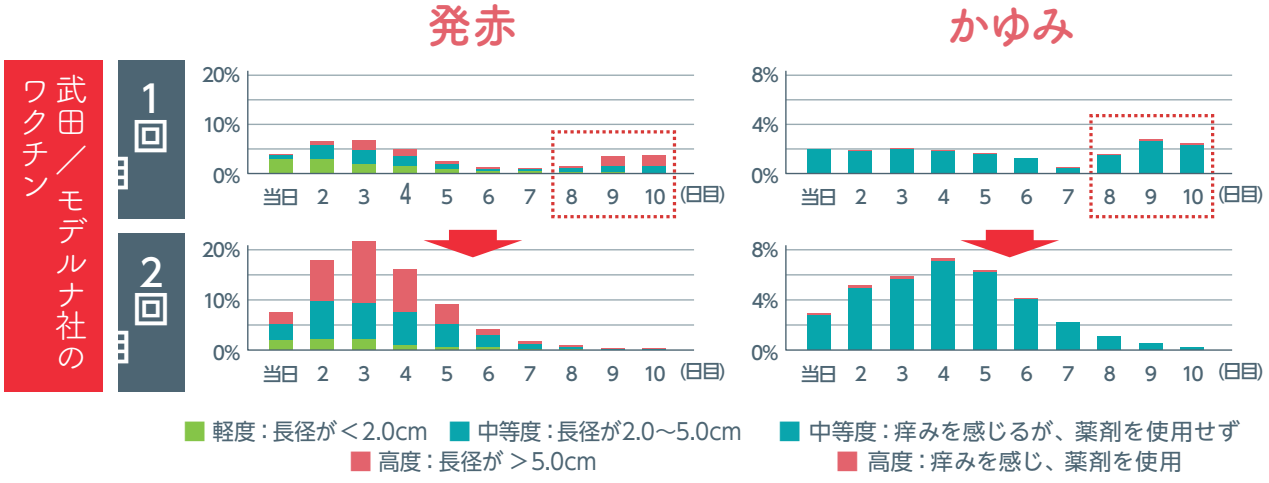
全身倦怠感及び頭痛の発現頻度は、「軽度」、「中等度」、「高度」の合計を示しています。

(※)症状の経過等については、健康状況調査（新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業）の中間報告を基に記述しており、ファイザー社については令和3年7月7日報告分、武田/モデルナ社については同年8月26日報告分です。詳しい情報は厚生労働省ホームページをご参照ください。

接種後の発赤、かゆみの経過・頻度

○ 武田/モデルナ社のワクチンでは、1回目の接種から1週間程度経った後に、接種した部位のかゆみや痛み、腫れや熱感、赤みなどの遅延性皮膚反応が見られました。

○ ファイザー社の1・2回目、武田/モデルナ社の2回目の接種時には、接種後数日をピークに発赤やかゆみが見られました。



症状が出たときの対応

【発熱や痛み】

- 市販の解熱鎮痛薬（アセトアミノフェンや非ステロイド性抗炎症薬［イブプロフェンやロキソプロフェン等］）で対応いただけます。
- 発熱時には、水分を十分に摂取することをお勧めします。
- 妊娠・授乳中の方や胃潰瘍・腎機能障害・喘息などの持病のある方は、薬剤師や医師にご相談ください。

調査で使用された薬剤

アセトアミノフェン
ロキソプロフェン
ジクロフェナク
イブプロフェン
アスピリン



【かゆみや発赤】

- かゆい場合は冷やしたり、抗ヒスタミン剤やステロイドの外用薬（軟膏等）を塗ると、症状が軽くなります。こうした成分は、市販の虫刺されの薬などにも含まれています。

※ 症状が重い場合、長引く場合は、医療機関等への受診や相談をご検討ください。

接種後の生活

ワクチンの効果は高いですが、100%ではありません。
ウイルスの変異による影響もありえます。接種した後も、マスクの着用など、感染予防対策の継続をお願いします。



健康状況調査
https://www.mhlw.go.jp/stfseisakunitsuite/bunya/vaccine_kenkoujoukyoutyousa.html

副反応への対応方法(動画)
https://www.youtube.com/watch?v=hUI0W5gxRKo



新型コロナワクチンについて、よく知ってください。

三密を避ける、マスク、手洗いを徹底する。
いまや当たり前となったそんな新型コロナウイルス対策に新たな一手、新型コロナワクチンが加わりました。

ワクチンを受ける際には、感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について、
正しい知識を持っていただいた上で、ご本人の意思に基づいて接種をご判断いただきますようお願いします。
みなさまに納得して接種をご判断いただけるように、情報提供に努めております。
新型コロナワクチンの詳しい情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

厚労省 コロナ ワクチン 検索

ワクチンを受けるにはご本人の同意が必要です。受ける選択。受けない選択。一人ひとりの判断、どちらも間違いではありません。

ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare